

最優秀賞に 第一コンサル右城猛社長

高知県建設技術公社（野村俊夫理事長）は1月30日、第9回高知県建設技術研究発表会を高知市のふくし交流プラザで開催した。今回から創設された主催者表彰式では、最優秀賞に第一コンサルタンツ社長の右城猛さん、奨励賞として、高知県建設業協会会長賞に高知土木事務所 敷地昭彦さん、高知県測量設計事務所協会会長賞に第一コンサルタンツの加賀山肇さん、高知県土木施工管理技士会会長賞にロイヤルコンサルタント社長の筒井秀樹さんが

第9回高知県建設技術研究発表会を開催

それぞれ表彰された。発表会に先立ち、主催者を代表して野村理事長は「優れた発表に対して表彰することになり、この発表会もグレードアップした。」と述べた。発表は次の通り。主な発表は次の通り。

▽「落石の運動エネルギーと等価摩擦係数（第一コンサルタンツ、大旺建設1件の計12件）。

▽「道路の延命化を指し、経済的な舗装修補について（高知土木事務所、敷地昭彦）」。舗装損傷の抑制にシール材の効果

技術力アップへ12項目で研究発表

公共事業の業務への技術力などのスキルアップを図り、建設業界の発展を願うこととあいさつした。

発表は、県から4件、香美市1件、いの町1件、民間では、第一コンサルタンツ4件、ロイヤルコンサル



表彰される右城猛社長（右）

▽「ポケット式落石防護ネットの現状と問題点（第一コンサルタンツ、加賀山肇）」。ポケット式落石防護ネットの可能吸収エネルギーの算定式は、金網、ワイヤロープの変形による吸収エネルギーは過小算定されているので、安全側の設計になっている。今後は実証実験や動的解析などによる性能評価の設計手法を取り入れることが重要だと発表。

▽「コスト削減を目指す高機能型落石防護ネットの開発に関する研究」（ロイヤルコンサルタント、筒井秀樹）」。大幅なコスト削減を目指し、研究開発を進めている高機能型落石防護ネット「ロングスパン」について、重錘衝突実験の検証結果について発表。

講評として、高知県土木部の榎尾道春建設検査長が「12項目の研究発表ともにすばらしい内容だった。専門的な研究や調査など技術屋として敬意を表したい。この研究成果を県土の発展に生かしてもらいたい」と締めくくった。